

- 問1 再生可能エネルギーの導入を推進することは、環境保護だけでなく日本のエネルギー安全保障の観点からも重要視されています。太陽光や風力を利用した発電に関する資料において、「利点」として挙げられる特徴として適切なものはどれですか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. 海外からの資源輸入価格の変動に合わせて、発電量を柔軟に調整することが容易である。
 2. 大規模なダムや燃焼施設を必要としないため、都市部の狭い土地でも効率よく発電できる。
 3. エネルギーの密度が非常に高いため、小さな設備で都市全体の電力をまかなうことができる。
 4. 自然の力を利用するため資源が枯渇する心配がなく、エネルギー源を国内で確保できる。
- 問2 発展途上国などで導入されている、貧困層の人々が自立して事業を始められるよう、無担保で小口の資金を貸し出し、収入を得る機会を提供する仕組みを何とといいますか。 (2024年 青森県公立入試 類似)
1. マニファクチュア
 2. マイクロクレジット
 3. リージョナリズム
 4. インクルージョン
- 問3 温州みかんの栽培地域に関する予測において、地球温暖化が進行した21世紀後半の日本の状況を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 広島県公立入試 類似)
1. 気温が上昇することで、現在の主産地における収穫量はさらに増加し、品質も安定するようになる。
 2. 寒冷化の影響によって、現在は東北地方まで広がっている栽培適地が、将来的には関東以西に限定される。
 3. 灌漑施設の不足により、日本国内のほぼすべての地域で栽培が困難になる。
 4. 現在は関東以西の太平洋沿岸部が中心だが、将来は北陸や東北地方まで栽培に適した地域が広がる。
- 問4 現代の公民的分野において、製品の修理やリサイクルといった活動を通じて持続可能な社会の形成を目指す背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
1. ゴミの焼却施設を増設し、すべての廃棄物を灰にすることで、最終処分場の不足問題を物理的に解消するため。
 2. 地球上の天然資源には限りがあり、環境への負荷を減らしながら将来の世代に資源を引き継ぐ必要があるため。
 3. すべての製品を使い捨てにすることで、企業の生産活動を最大限に活性化させ、景気を回復させる必要があるため。
 4. 環境保護のためにあらゆる工業製品の製造を禁止し、自然界の資源のみを消費する自給自足の生活に戻るため。
- 問5 20世紀後半から国際社会の大きな課題となっている、主に北半球に位置する先進工業国と、南半球に多く分布する発展途上国との間に見られる大きな経済格差のことを何とといいますか。 (2026年 福岡県公立入試 類似)
1. 所得格差
 2. 南南問題
 3. 南北問題
 4. 人口爆発
- 問6 原子力発電に伴って発生する放射性廃棄物は、その最終的な処分方法や場所が十分に決まっていない現状から、ある建物に例えて何と呼ばれていますか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
1. トイレなきマンション
 2. 窓のない教室
 3. 出口のない迷路
 4. 階段のないビル
- 問7 日本のエネルギー安全保障において、輸入頼みによる供給の不安定さを解消するための具体的な方針を説明したものとして、適切な記述を選びなさい。 (2023年 大分県公立入試 類似)
1. エネルギーの安定供給よりも経済性を優先し、常にその時々で最も安価な国からのみ購入する。
 2. 特定の国への依存を低減させ、多くの国から資源を調達することで、供給の安定を図る。
 3. 輸送効率を最大化するため、日本に近い近隣諸国からのみ資源を調達するように改める。
 4. 国際情勢の影響を最小限にするため、輸入先を特定の地域に固定して長期契約を結ぶ。
- 問8 2000年に制定された、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会から脱却するための法律について説明した文章があります。その文章の中で、廃棄物の発生抑制や資源の再利用を推進し、天然資源の消費を抑えて環境への負荷を低減する「〇〇形成推進基本法」という法律名が登場します。この空欄に当てはまる、資源が効率的に活用される社会のあり方を示す語句として正しいものを選びなさい。 (2022年 福島県公立入試 類似)
1. 再生可能社会
 2. 持続可能な社会
 3. 循環型社会
 4. 環境共生社会
- 問9 日本のエネルギー問題に関する記述として、近年の発電状況を正しく説明しているものはどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
1. 安定した電力供給のために、石炭や天然ガスなどを燃料とする発電方法が、現在も発電電力量の最大を占めている。
 2. 資源の少ない日本では、明治時代から一貫して原子力発電が最も主要な発電方法として利用されている。
 3. 再生可能エネルギーの急速な普及により、2019年時点では太陽光発電が日本の電力供給の半分以上を支えている。
 4. 二酸化炭素の排出量を抑えるため、化石燃料を使用しない水力発電が発電電力量の約7割を占めるようになった。
- 問10 地球温暖化の仕組みと、近年の国際社会における状況について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 山口県公立入試 類似)
1. 二酸化炭素などの排出が増えることで、地表からの熱が宇宙へ逃げにくくなり、地球全体の気温が上昇する現象を指す。
 2. 工場や自動車から排出される排ガスが雨に溶け込み、強い酸性を示すことで、気温の上昇とともに森林を枯死させる。
 3. エアコンの冷媒などに使われる物質が大気中に放出され、紫外線を遮る層を破壊することで、地表の温度が急激に上昇する。
 4. 熱帯林の伐採が進むことで、植物による光合成の働きが活発になり、結果として大気中の二酸化炭素が急増する。
- 問11 地球環境保全に関する国際的な取り組みについて述べた次の文のうち、内容が最も適切なものはどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
1. パリ協定では、特定フロンなどのオゾン層を破壊する物質の生産や消費の廃止を定めた。
 2. 京都議定書では、二酸化炭素などの温室効果ガスについて、先進国に削減目標の達成を義務づけた。
 3. 京都議定書では、発展途上国を含むすべての加盟国に共通の削減目標を課した。
 4. モントリオール議定書では、すべての加盟国に対して温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを求めた。
- 問12 日本各地で行われている「エコツーリズム」の本来の目的や仕組みについて説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 大分県公立入試 類似)
1. 廃棄物の排出をゼロにする社会を実現するため、北九州市などの工業都市に大規模な住宅団地を建設する。
 2. 都市部で深刻化するヒートアイランド現象を抑制するため、地方の山間部で大規模な植林活動を行う。
 3. 発展途上国の製品を適正な価格で継続的に取引することで、現地の生産者の自立と生活改善を支援する。
 4. 地域の自然や文化を保全しながら観光に活用し、環境保護と地域経済の活性化の両立を目指す。
- 問13 2020年時点の日本の発電コストに関する試算において、火力（石炭）、原子力、風力、太陽光、地熱、大規模な水力を比較した際、燃料費がかからないという特徴を持ち、1kWhあたりの平均コストが最も低いとされている発電方法はどれですか。 (2023年 大分県公立入試 類似)
1. 火力（石炭）発電
 2. 地熱発電
 3. 太陽光発電
 4. 水力（大規模）発電